

# 小学校第2学年2組 道徳学習指導案

期 日 平成28年10月21日（金）第5校時  
場 所 宇城市立豊川小学校 2年2組教室  
指導者 教諭 高原 真由美

## 1 主題名

「みんなのために働こう」 C [勤労, 公共の精神]

## 2 資料名

「火たきのしごと」(道徳教育用郷土資料「くまものこころ」)

## 3 主題について

### (1) ねらいとする内容項目(価値)について

本主題は、内容項目Cの「働くことのよさを知り、みんなのために働くこと」を深めることを意図したものである。これは、中学年の内容項目「働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと」高学年の内容項目「働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること」へと繋がる。さらに、中学校の内容項目C[勤労]の「勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること」へ発展していく。

人が生きていくには、仕事に対して誇りをもち、喜びを感じ、働くことの意義を自覚して、進んで社会に役立とうとする心を育てることが大切である。働くことは、単に自分が生活していくためだけでなく、自分に課された社会的責任を果たすという意味においても重視する必要がある。働くことを通して、社会に対する奉仕や公共の役に立つ喜びも味わうことができる。

この時期の児童は、学級や家庭での仕事やお手伝いなどを喜んですることが多いが、苦労や責任を伴う仕事は敬遠しがちである。したがって、手伝いをしてほめられる喜びは知っていても、仕事をするものの社会的意義やその喜びを認識していることは少ない。そこで、地域に伝統的に受け継がれている神事の仕事を受け継ぎ、働くことの意義を自覚していく主人公の生き方に共感することを通して、日常の掃除などの仕事の意義を理解し、意欲的に働こうとする心情や態度を育んでいきたい。

### (2) 児童の実態について(男子7人 女子13人 計20人)

○本学級の児童は、明るく元気で男女の仲もよい。学習に対しても、ほとんどの児童が意欲的に参加することができる。20人中16人の児童が「道徳の授業がすき。」と答え、15人が「道徳の授業で勉強したことが、生活の中で役に立っている。」と答えた。しかし、道徳の授業において自分の考えを持ち、友だちの前で発表することに苦手意識を持つ児童も数名いる。

### 実態調査の内容

#### 1 係や掃除、給食当番の仕事をどう思いますか。

|      | 楽しい | どちらかという<br>と楽しい | 楽しくない | 大切  | どちらかという<br>と大切 | 大切でない |
|------|-----|-----------------|-------|-----|----------------|-------|
| 係の仕事 | 14人 | 3人              | 3人    | 16人 | 3人             | 1人    |
| 掃除   | 9人  | 7人              | 4人    | 17人 | 2人             | 1人    |
| 給食当番 | 11人 | 8人              | 1人    | 15人 | 5人             | 0人    |

#### 2 どんな気持ちで仕事をしていますか。

- ・仕事をしとかなないとみんなが困る。(4人)
- ・「ありがとう」と言われたい。(10人)
- ・早くすませて遊びに行こう。(4人)
- ・めんどくさい。(5人)
- ・係の仕事をするのは、楽しい。(14人)
- ・先生にほめられたい。(11人)
- ・早くしないと怒られる。(6人)

3 あなたは、新聞係になりました。はじめは、みんなの好きなテレビ番組ランキングや友だち紹介のコーナーを考えて、新聞を作っていました。何回か出した後やめてしまいました。すると友だちが、「次の新聞はいつ？楽しみにしてるのになあ。」と言いました。あなたはどうしますか？またそれはなぜですか？

- |           |       |                 |
|-----------|-------|-----------------|
| ・また新聞を出す。 | (13人) | ・自分の仕事だから       |
|           |       | ・楽しみにしてくれているから  |
|           |       | ・ほめてもらいたいから     |
|           |       | ・怒られるかもしれないから   |
|           |       | ・文句言われるかもしれないから |
| ・しらんぷりする。 | (7人)  | ・あきてきたから        |
|           |       | ・もうしたくないから      |
|           |       | ・めんどうだから        |
|           |       | ・きついから          |

○事前調査の結果、ほとんどの児童が「係の仕事は大切である。」と答え、約2／3の児童が「係の仕事をするのは楽しい」と答えている。また、実生活においても一人一役である係活動の仕事や給食当番等、頑張って取り組む事ができている。しかし、つい遊びを優先してしまったり忘れてしまったりしてしまい、友だちからの声かけで取り組む姿もまだまだ見受けられる。

○問2の結果を見ると、仕事に対しての喜びや働くことの意義を感じている児童もいるが、「怒られるから」や「友だちから文句をいわれるから」「ほめられたいから」といった、まだまだ幼い考えの児童もいる。

### (3) 資料について

本資料は、鬼八伝説と聞き取りにより作成された、阿蘇霜宮神社の火炊神事に関する話である。霜宮神社の火炊神事は、2500年以上地域の人々によって続いてきたとされている伝統的な神事である。「火炊乙女」になった12～13歳以下の女子児童が祖母などと共に、8月19日から59日間火炊所にこもり、五穀豊穡や地域の生活の安定への願いをこめて火を炊き続ける。

地域に古くから伝わる火炊乙女をすることになった主人公よしこは、火炊きのつらさを味わいながらも、その仕事をする意義を少しずつ理解していく。仕事の意義を見だし、仕事の好き嫌いかかわらず、みんなのために意欲を持って働こうとする心情や態度を育てるのに適した資料である。

### (4) 指導にあたって

○導入においては、主体的に考えようとする心構えを持つことができるように、係活動や当番活動などの仕事について想起させ、進んで仕事をしようとする心情と、きつくてちょっといやだなという気持ちの両方を引き出し、ねらいとする指導内容への方向付けを行う。

○資料提示においては、場面ごとの挿絵を用意して、登場人物の心情に迫ることができるようにする。

○中心発問においては、働くことの良さについてしっかりと考えられるように、フリーカードに自分の考えを書く時間を十分に確保する。また、グループに分かれ友だちと考えを交流し合うことで、多面的・多角的な考えに触れ、考えを高め合う際の手がかりとなるようにする。

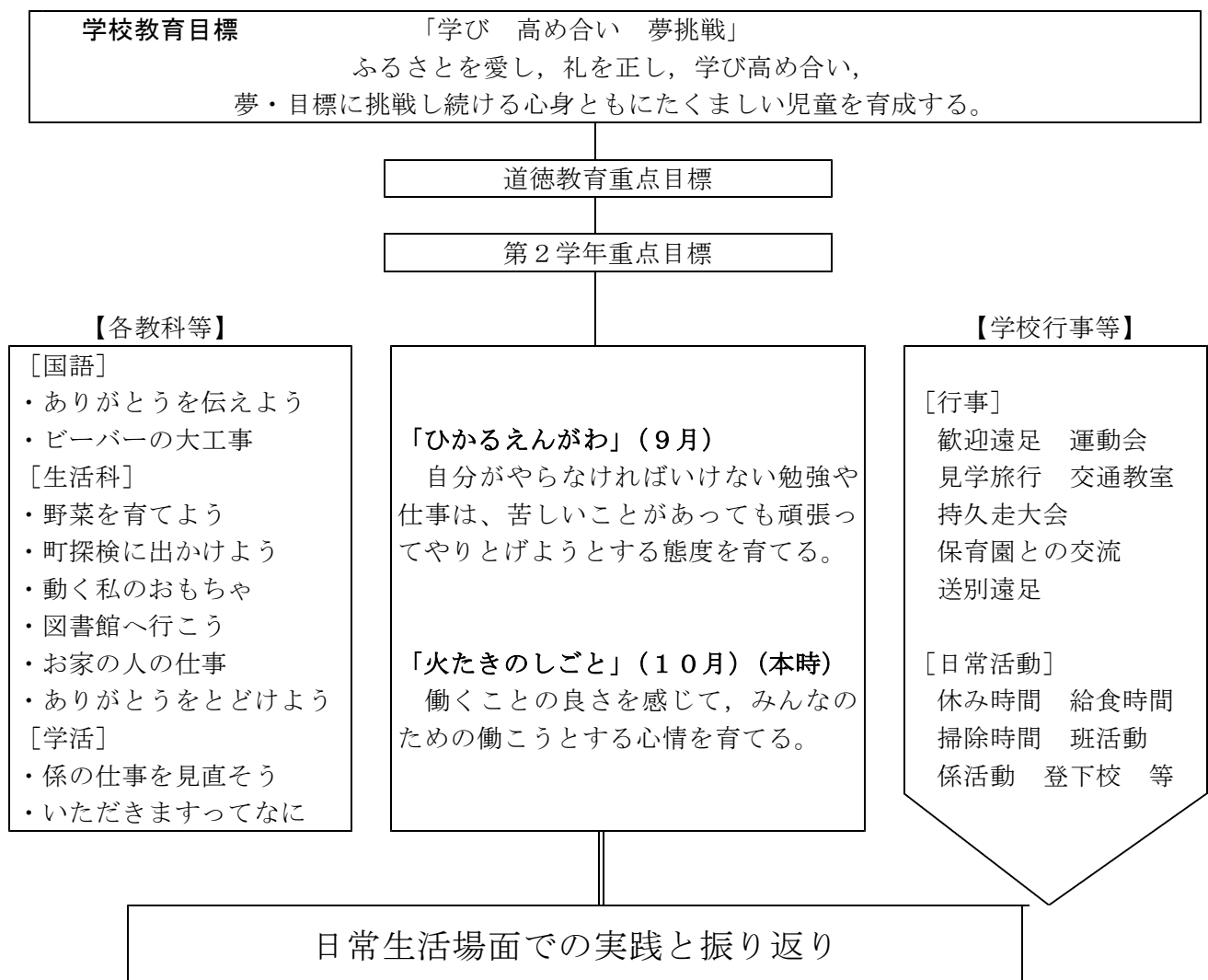
○終末においては、友だちからの手紙を読み、働くことの良さを感じ、これからもみんなのために働こうとする意欲を高めさせたい。

○書くことや友だちの前で、発表することを苦手としている児童もいるので、個別に声かけをするとともに、友だちの意見を聞こうとする支持的な学級の雰囲気作りに努める。

○鬼八伝説については、国語「言い伝えられているお話を読もう」で事前に読み聞かせをしておくことで、よし子の気持ちに寄り添って考えたり、友だちと意見を交流し合ったりする時間を十分に確保する。

|                                           |                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>学習活動を生む</b><br>「問い」の工夫<br>(言語活動の充実)    | <b>①</b> アンケートを基にめあてに迫る課題(テーマ発問)を設定する事で、より主体的・共働的な学びを引き出す。<br><b>②</b> 自分の考えをフリーシートに書いた後、グループで意見交流をしたり、全体で話し合ったりしながら学習を進めることで、多面的・多角的な考えに触れ合える場を設定する。 |
| <b>学びを振り返る</b><br>思考過程の可視化と<br>学びの振り返り    | <b>③</b> 学習を振り返ることができるように、児童の思考を適切に整理した板書を行う。<br><b>④</b> 課題(テーマ発問)を再度展開後半に振り返りの場を設定することで児童の価値に対する自己理解の再構築を促す。                                        |
| <b>学びを支える</b><br>学びのUD化とICTの<br>活用及び支持的風土 | <b>⑤</b> 発問の精選を図り、児童が意見を考えたり交流したりする時間を十分確保する。<br><b>⑥</b> 自分の考えを書くことができない児童に対しては、ミニ挿絵やよし子の表情を見せながら、主人公の気持ちや行動の変化を想起しやすいようにする。                         |

#### 4 各教育活動との関連



#### 4 本時の学習

##### (1) ねらい

59日間火炊所にこもり火を炊き続けるよしこに寄り添い考える活動を通して、仕事の意義や働くことのよさに気づき、みんなのために働こうとする心情を育てる。

##### (2) 展開

| 過程    | 時間 | 学 習 活 動                                                                           | 主な発問と児童の反応                                                                                                                                           | 指導上の留意点及び評価                                                                                                                  | 備考                 |
|-------|----|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| とらえる  | 5  | 1 毎日やっている係や当番の仕事について話し合う。                                                         | ○どんな係や当番活動の仕事がありますか。どんな気持ちで取り組んでいますか。                                                                                                                | ○自分の係や当番の仕事について想起させることで、本時の道徳的価値への方向付けをする。                                                                                   | 係や当番の表<br>アンケート    |
|       |    | しごとをするとき大切なのは、どんな気持ちでしょう。                                                         |                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |                    |
| よく考える | 20 | 2 教材「火たきのしごと」の話を聞いて話し合う。                                                          | ○お話を読みます。真ん中に集まって下さい。喜八伝説の話は覚えていますか。                                                                                                                 | ○挿絵を元に、以前聞いた喜八伝説について内容を確認する。また、話に集中できるように、教室中央に児童を集めて紙芝居を読む。                                                                 | 挿絵<br>移動黒板<br>紙芝居  |
|       |    | (1) つらそうにしているよしこの気持ちを考える。                                                         | ○火たきの仕事を始めたよしこさんは、初めどんな気持ちだったでしょう。<br>・ねむいなあ。けむいなあ。<br>・おこられるから、がんばろう。<br>・火を消したらみんながこまる。                                                            | ○仕事をするときの辛さ（煙・59日間・外に出られない）を板書で押さえてから発問し、自分たちの生活と比べながらよしこの気持ちを考えさせる。                                                         | 挿絵                 |
| ふかめる  |    | (2) 火をたき続けるよしこの気持ちを考える。<br>・フリーカードに書く。<br>・グループで意見を交流する。<br>・学級全体で考えを発表し、考えを深め合う。 | ◎火炊き所で火を炊き続けながら、よしこさんは、どんなことを考えていたでしょう。<br>・お父さんが励ましてくれたから頑張ろう。<br>・おばさんから褒められたから頑張ろう。<br>・農家の人たちに喜んでもらえるように、私も頑張ろう。<br>・私も誇りに思えるようになりたい。            | ○きつさの中、お父さんやおばさんの励ましで辛さを乗り越え、やる気を起こしていくよしこの気持ちの変化に迫らせる。<br>○自分の考えを書いた後、グループでの話し合いを設定し、多様な考え方を交流することで、自身の道徳的価値の自覚を深めていく。      | 挿絵<br>フリーカード<br>画板 |
|       | 5  | 3 学習を振り返り、仕事をするときに必要な心について考える。                                                    | 今日の学習やこれまでの生活を振り返り、仕事をするときに必要な心は何か考えましょう。                                                                                                            | ○考えをまとめることが苦手な児童については、挿絵を見ながら個別に支援していく。<br>○事前のアンケートや導入時の結果を振り返り、今までの自分と学習後の自分の心の変化を感じ取らせる。<br>○最初に提示した問いを再度問うことで、価値の再構築を図る。 |                    |
| わかる   | 12 | 4 これまでの自分の行動を振り返り、これからの自分について考える。                                                 | ○今までの係や当番の仕事を振り返ってみましょう。また、よしこさんに学んだことを書きましょう。<br>・バケツの水を準備するのを忘れて、みんなが困っていた。これからは、遊ぶ前にちゃんとしたい。<br>・流し掃除の時、ていねいに磨いてくれてありがとう。きれいになったねと言われた。これからも頑張ろう。 | ○これまでの自分とよしこの行動を重ね合わせ、資料に共感しながら、自分の体験や気持ちを述べるができるようにする。                                                                      | ワークシート             |
|       |    |                                                                                   |                                                                                                                                                      | 【評価】（つぶやき・ワークシート）<br>よしこの仕事に対する心情に共感し、みんなのために働こうとする心情を深めることができたか。                                                            |                    |
|       | 3  | 5 友達の手紙を読む。                                                                       | ○友だちから、お手紙をもらっています。読んでみましょう。                                                                                                                         | ○働くことのよさを感じ、これからもみんなのために働こうとする意欲を持つことができるように、余韻を持って終わらせる。                                                                    | 友だちからの手紙<br>BGM    |